



# 佐工だより

佐賀県立佐賀工業高等学校 総務部発行 第342号 (2021年2月)



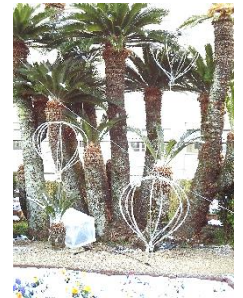
最低気温マイナス4度、大雪とともに始まった3学期。15日に新型コロナウイルスの感染者が出て、感染拡大により授業が3日間リモートに切り替えられました。3学期は3年生にとって学校を巣立つ準備の時、1・2年生にとっても今年度を振り返り、次年度に備える大切な時期です。やり残したことはありませんか。寒さに負けず、コロナに負けず、充実した日々を過ごしましょう。

## 「年度の終わりを前に」 令和3年 3学期始業式



1月8日は前夜からの積雪のため登校できない生徒が多数いる中、リモートで始業式が行われ、副島政史校長先生から年頭の挨拶がありました。その中で「コロナ禍が隆盛を見せる状況下、他の都府県で非常事態宣言が出されていますが、小中高校は学校が開かれ、こうして学習の機会が保たれました。佐賀県でも感染が増加していますが、十分気をつけ、辛抱して頑張りましょう。」と述べられ、また「3年生は3月に全員そろってこの学び舎を卒業してほしい。1、2年生は得意分野を伸ばし、不得意分野は克服して、新学年を迎える準備や充電をしてほしい。新年の始まりをそれぞれの学年の最終仕上げのスタートとして頑張っていきましょう。」と生徒諸君を激励されました。

また正門ロータリーに新しく設置しているイルミネーションについて、「機械・電気・電子情報・建築の4科の文化部合同で、工業高校ならではの技術が活かされています。夕方、帰宅するときに見て、元気をつけてください。」とも述べられました。



## 第100回全国高校ラグビー大会 2回戦敗退



第100回全国高校ラグビー大会は12月27日、大阪の花園ラグビー場で開幕し、初日の1回戦で、本校ラグビーフットボール部は大津緑洋高校（山口県）と対戦。64-0で大勝し、2回戦に駒を進めました。そして30日に優勝候補の強豪、東海大仰星高校（大阪府）と対戦し、7-31で敗れました。キャプテンの内川朝陽君（機械科3-1・牟田山中）は大会を振り返って、次のように述べました。「この1年いろいろありましたが、大会を開いてもらえて、3年間の思いをぶつけることができました。今年のチームは、個人個人がしっかりした考えを持っていて、個々の力が高かったと思います。1回戦はオープニングゲームで緊張していたけれど、積極的に攻めることができましたが、2回戦は相手の勢いに押されました。でも最後に『不撓不屈』を体現できたと思います。」



無観客の会場で試合を見守る仲間たち

## 卒業生によるパネルディスカッション開催

12月16日、本校を卒業し、社会で活躍されている4名の先輩方をお招きして、パネルディスカッションが行われました。

光吉智氏、笹川俊一氏、福岡宏起氏、永野薫氏が高校時代の過ごし方や現在、中堅として仕事にどのように取り組んでいるかなどお話しくささいました。



左から光吉智氏、笹川俊一氏、福岡宏起氏、永野薫氏



光吉智氏（鶴沢鉄工所・H16機械科卒）  
旋盤もフライス盤も嫌いだったし、油まみれで危険な仕事には就きたくないと思っていましたが、今こうして働いています。皆さんもどんな仕事に就くかわかりませんよ。仕事は部活と同じで、やり甲斐を見つけるときついことも乗り越えられ、楽しくなります。



笹川俊一氏（笹川工建・H13建築科卒）  
高校時代の友達は一生の友達です。当時の友達は今は自分の協力者です。人と接するとき大切なのはリアクションをちゃんとすること。そうすることで先に繋がります。また高校は一般常識を教わる最後の場所です。自分では何が大事かわからなくても、先生方は意味のあることをやってくささいしています。



福岡宏起氏（戸上電機製作所・H19電気科卒）  
もともと物を作るのが好きで戸上に就職し、工場で働いています。仕事は最初は何もわからないのは当たり前なので、どんどん人に聞いて頑張ることが大切です。言われるがままにがむしゃらに頑張って、数をこなして経験値を積んでください。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」です。学生時代にもっと勉強しておけば良かったと今も思うので、みなさんは今のうちにどんどん知識をつけてください。



永野薫氏（NBCラジオ佐賀・H13電子科卒）  
高校では部活動をしなかったかわりに、資格取得や勉強を先生の勧めに従って頑張りました。そのおかげで3年のとき選択の幅が広がりました。自分の希望を通すには武器が必要です。何で闘って仕事を得るかを考えて、武器を持とう。



## インターンシップ（2年）

期末考査後の12月3日と4日の2日間、2年生を対象にインターンシップが行われ、様々な職場を体験しました。会社の説明や見学だけでなく、いろいろな作業をさせてもらい、仕事の一端垣間見る機会となりました。2年生はいよいよ真剣に進路を考え、決める時期が近づいています。誰もがいいなと思うところは狭き門です。こんなところで働きたい、この人たちの仲間になりたい、そういう気持ちが湧いたなら、それを実現するための努力をしましょう。



- ◆「仕事をする楽しさや達成感などをより深く知ることができました。自分たちが作業している間、近くで作業をしていた社員の方は難しそうなお内容の作業をしていて、集中している姿はすごかつこよかったです。（藤巻航典君・蒲原鉄工所）」
- ◆「印象に残っていることは、『あせらず、ゆっくり丁寧に作

業する』ことです。佐賀鉄工所をつくるボルトは世界中で使われており、身近な車のタイヤの部品などにも用いられるもので、もし不良品が使われていたら事故に繋がるので、しっかり丁寧に作業を行わないといけな、集中力のいる作業だった。（小川蓮斗君・佐賀鉄工所）」



◆「仕事ってどんなものだろうと思っていたけれど、実際に体験するととても大変なことだということがわかりました。1日するだけでも結構疲れました。毎日している工場の人たちはとてもすごいと思いました。あらためて親のありがたさがよくわかりました。(真崎陽哉君・株式会社三川)」◆「このインターンシップを通して、簡単な仕事はないということに改めて実感した。これならできそうと思う仕事が1つもなかった。ねじを切る作業はほとんど機械がやっていて簡単そうに見えたけれど、その機械を動かすためにはいろいろな作業をしないといけないと思うし、動いたとして機械などに不備があったら自分でどこが悪いのか探して直さないといけないと思うと、やはり簡単ではないと思う。自分はどうせ働くのなら楽な仕事をしたいと思っていたけれど、自分の考えは甘かったと実感した。これからはどうやって楽をしようではなく、楽をするためにどうしたらいいかを考えてこうどうしたいと思う。(香月大夢君・佐賀鉄工所)」◆「職場内でのコミュニケーションはとても重要だと思いました。コミュニケーションが取れることで、仕事の分担や相談をすることができ、作業が効率よくできるのだと実感しました。(筒井大暉君・陣内商会)」◆「仕事内容は、メッキと溶接で、メッキのように一度製品を液につけて、15～30分待たないといけないものや、一日中手を動かし続けられないといけないものなど様々なものがありました。メッキは一見、単純、簡単なものだと思うけれど、実際はしっかり時間を守らないといけないなかったり、液の酸の濃度が落ちていないかなど確認をしないとできなかったり、細かいものが多くて、これも大変そうでした。(古川沙智君・実松製作所)」◆「初めての職場で本格的に働いてとても大変だと

思いました。職場では仕事をするのも大事だけれど、楽しく仕事したり、分からないときにはちゃんと聞いたりできるように人間関係も大事にしないといけないと思いました。サガシキにはたくさんの機械があり、それを操作する人たちはみんなやり甲斐を持って作業していることが見ていてよくわかりました。(真子大雅君・サガシキ)」◆「鋳物は作る時に少しでも間違えると製品は失敗するのでとても気をつけながら作っていることがわかりました。砂が固まった物や道具など重かったので、とても力があると思いました。またみんな仲が良くて、とても明るい雰囲気の仕事がされていたので楽しそうだなと感じました。(一ノ瀬莉玖君・佐賀鋳物)」◆「職場の方から知らないことを聞かれたとき、返答ができないことがあったので、そこは反省して、わからないことを聞かれたときはすぐに『すみません、分かりません』など何かしら返答するようにしていきたいと思いました。(柳川涼翔君・東和佐賀事業所)」◆建築事務所と現場の話し合いの場面に立ち会いました。それぞれに考えと事情があり、期限や変更点を協議し方針を決めておられました。建物の完成のために、時には相手と言合いになってでも意志を示すこと、妥協点を探ること、これらも建築家としての仕事であると改めて感じました。(井手涼介君・石橋建築事務所)」◆一級建築士のお話を聞いて、今よりも何十倍も建築の勉強をしたいと思いました。また、幅広い知識を必要とする補償コンサルタントという調査する建築を学んだことでより建築の奥深さを知り、興味を持ちました。(岸川悠良君・九州技術開発)



## 芸術鑑賞会 学校寄席



12月10日、佐賀市文化会館で3年に一度の芸術鑑賞会が開催されました。今回は落語家の林家たい平さん、林家二楽さん、春風亭昇也さんによる学校寄席でした。落語家仕草の体験コーナーでは各学年の代表者が舞台上上がり、扇子を使ってそばを食べるという課題に挑戦しました。色物の紙切りでは鮮やかな缺さばきが披露され、会場が沸きました。圧巻は最後の「花火」でしょうか。たった1枚の畳の上で繰り広げられる花火大会。打ち上げ花火が次々と夜空を彩る光景が見えるようでした。

■落語というものはとても技術が必要で、聞いている人は、落語家の話を聞きながら頭の中で想像するので飽きないなと思いました。■紙切りは短時間で、なおかつ切りながら話でお客を笑わせていて、一瞬たりとも退屈させない。すごかったです。■特に印象に残っているのが、たい平さんの『何気なく過ごしている日常にも、どこか楽しさや面白さがある。それを見つけようとするれば面白い毎日になる』という言葉だ。今後は自分も普段の日常の中で楽しさを探しながら生活したい。■ちゃんとした落語を聞いてみると、とてもペースが速くてついていくのが大変でした。紙切りは繊細な技だなと感動しました。■落語と聞くと堅苦しいイメージしかなかったけれど、最初の春風亭昇也さんの落語を聞いていたら自然に

笑っていました。意外とおもしろいなと思いました。■なんとなく学校生活をおくるのではなく、絶対おもしろいことがあると思って過ごしたいと思いました。でも、こういう気持ちのもっていき方がわからない。でも頑張ろうと思った。■『笑点』を少しだけ見たことがありおもしろいなと思っていたので、前日からワクワクしていました。その期待は裏切られませんでした。■落語は年寄りが聞いて楽しむものと思っていませんでした。けれど、いざ聞いてみると僕は最初の方から笑いが止まりませんでした。■話のテンポの良さに驚きました。あまりにもテンポがよすぎて、話を聞くのに夢中でした。自分も落語家のような話のうまい人になりたいです。

# 表彰

キ：機械科 テ：電気科 シ：電子情報科 ケ：建築科 K：機械システム科 C：電子科 I：情報システム科

<b>第15回佐賀県冬季水泳競技大会</b>		
15歳以上男子50M平泳ぎ 第2位	柳川 涼翔	(テ2-1・三日月中)
15歳以上女子50M平泳ぎ 第2位	樋口 愛梨	(I1・小城中)
<b>佐賀県工業系高等学校第29回生徒学習成果発表大会</b>		
優良賞	村井 聖菜	(ケ3・東原庫舎東部中)
	野田 大地	(ケ3・諸富中)
	久本 聖也	(ケ3・東与賀中)
	野中 創太	(ケ3・千代田中)
	服部 莞太	(ケ3・浅川中)
<b>令和2年度高校生ICT利活用プレゼンテーション大会</b>		
優秀賞	西村 友杜	(キ3-1・昭栄中)
	小川 美月	(キ3-1・白石中)
	内川 雄真	(キ3-1・千代田中)
<b>令和2年度第39回佐賀県高校ソフトテニスインドア選手権大会</b>		
石井・高崎ペア 優勝	石井 大裕	(テ2-2・川副中)
	高崎 幸樹	(K1・城東中)
港・姉川ペア 準優勝	港 昂史朗	(シ2・城西中)
	姉川 勝哉	(C1・基山中)
<b>唐津近圏九州高校生バレーボール大会 優勝</b>		

## 2月行事予定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	月	学年末考査(3年) 3年PCリカバリー開始	15	月	学年末考査(1、2年)
2	火	↓ インターンシップ事前指導(1年) 進路学年集会(2年)	16	火	
3	水	進路体験発表会 大掃除	17	水	↓ 服装頭髪検査
4	木	特別選抜のため自宅学習 	18	木	
5	金	工業基礎学力テスト(2年) 租税教室(3年)	19	金	卒業生と語る会(ケ2・A1) 外部講師(M1・K1・シ2)
6	土		20	土	
7	日		21	日	
8	月	進路指導講話・消費者教育(3年)	22	月	
9	火	佐賀のことを学ぶ・年金セミナー(3年)	23	火	天皇誕生日 
10	水	3年生授業最終日 3年生を送る会(3年) スクールカウンセラー来校日	24	水	3年登校日 スクールカウンセラー来校日
11	木	建国記念日	25	木	3年登校日
12	金	学年末考査(1、2年)	26	金	3年登校日 卒業式予行 同窓会入会式 大掃除(全学年)
13	土		27	土	
14	日	↓ 第3回危険物取扱者試験(乙4のみ) 	28	日	

### 佐賀県立佐賀工業高等学校

所在地 〒840-0841 佐賀市緑小路1-1

TEL 0952-24-4356

FAX 0952-25-7043

(ホームページ)

<https://www.education.saga.jp/hp/sagakougyoukoku/>

**編集後記** 「狭き門」という言葉はよく聞きますが、続きがあるのをご存知ですか。こうです。「狭き門より入れ。滅びに通じる門は広く、その道はなだらかで、これに入る者は多い。」出典は聖書で、元は信仰に関する話です。広き門は滅びに通じるんですよ！ラクちんなゴムのズボンをはくとか、近いのに車を使うとか、気楽に読める本ばかり読むとかって、……もしかしてもしかして全部「広き門」！？ K